

令和4年 第2回
村山市議会定例会

令和4年度

施政方針

令和4年3月

村山市長 志布隆夫

令和4年第2回市議会定例会の開会にあたり、市政運営に対する私の基本的な考え方と主な施策を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症が長期化する中、市民の健康を守りコロナ対策に尽力いただいております医療従事者の方々、関係者の皆様に敬意を表するとともに心より感謝申し上げます。

今年に入ってから、新たな変異株であるオミクロン株による感染の第6波が到来するなど、コロナとの戦いは今なお続いております。今後も徹底した新型コロナ対策を実施し、一日でも早い収束に向けて邁進してまいりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。

さて、本市では第5次総合計画の基本理念として、『次の世代へ引き継ぐ魅力ある村山市を創る』を掲げ、その実現に向けた施策の展開を図ってまいりました。

これからの村山市においては、医療や買い物等生活インフラの基盤となる中心市街地をしっかりと確立し、より人口減少が著しい周辺エリアについても、住居、子育て、働く場などを確保することが重要であります。

さらに、中心市街地へのアクセスも、道路網の整備、フリー乗降制のバス等公共交通の拡充により、市内どこに住んでも将来も安心して生活できるよう努めてまいります。

令和4年度予算では、特に子育てスマイルプロジェクトを軸とした子育て支援による『少子化対策、子育て世帯の定住の促進』、令和4年度に開設予定の「Link MURAYAMA」や東北中央自動車道開通を見据えた『中心市街地の再生』、これらの施策に対し積極的な予算配分を行ったところです。

それでは、これらの施策を中心に主な取組みを説明いたします。

(1) 少子化対策、子育て世帯の定住の促進

本市では、令和2年度より「子育てスマイルプロジェクト」として結婚から子どもが成人するまで、安心して子育てができるように切れ目のない支援を実施してまいりました。

深刻化する少子化、人口減少に歯止めをかけ、子育て世帯の定住を促進することを目的に、「子育てスマイルプロジェクト」をさらに充実させ、子育て支援を行ってまいります。

令和4年度からは、0～2歳児における保育料の無償化の対象を拡充することで経済的負担の軽減を図るとともに、子育て世代包括支援センターでのオンライン相談の導入により相談体制を強化し、より子育てしやすい環境を構築してまいります。

また、住宅施策として、西部エリアへ新たに住宅団地を造成するとともに、子育て応援・定住促進事業補助金においては、親や祖父母世帯との近居・同居を行う場合に補助金を増額するなど、子育て世帯の定住促進を図ってまいります。

教育分野においても、学力向上プロジェクトやGIGAスクール構想を引き続き推進し教育の質の向上に努めるほか、新たな事業として、市内の保育園等に外国人講師を派遣し幼少期の英語教育を促進する「むらやま英語教育推進プラン」、ランドセルとして利用できるリュックタイプのカバンを支給する「小学校入学応援事業」を開始し、幼児教育環境の充実を図ってまいります。

(2) 中心市街地の再生

令和4年度は、にぎわい創造活性化施設「Link MURAYAMA」がオープンし、

村山市発展の新たな拠点となります。また、駅西エリアにおいては、東北中央自動車道が開通し、新たな交通網が形成されるなど新たな生活環境が構築されることとなります。これらの大きな流れを的確にとらえた事業を実施していくことで本市の中心市街地を活性化させ、にぎわい溢れるまちづくりを推進してまいります。

まず、「Link MURAYAMA」では本体工事を完了させ、今年の夏ごろオープンの予定であります。「多様な利用者が集い、にぎわいの創出と経済効果を生む拠点」として、市内外の10以上の事業者が入居し、起業や新規事務所を開設するほか、中高生から利用可能なコワーキングスペースや市民向けの健康増進を目的としたメディカルフィットネスなど様々な機能を兼ね備え、村山市のにぎわいを牽引していくこととなります。

次に、東北中央自動車道開通を見据えた駅西エリア開発についてです。令和4年度は、駅西エリア開発の目玉となる新「道の駅」の整備に関する基本計画の策定に着手し、その整備実現に向けた大きな一歩を踏み出します。また、「次世代まちづくり開発促進事業補助金」により民間事業者が行う商業用地等開発への助成を行い、駅西エリアへの企業誘致も進めてまいります。企業が立地し働く場所が拡大することは、本市の産業活性化のみならず定住・移住の促進にも資するものであります。

これら、村山駅周辺エリアの施設整備を進めていくとともに、道路整備も併せて進めてまいります。中心市街地では、都市再生整備計画に基づく本郷通り線の進捗を図ります。また、「Link MURAYAMA」へのアクセス道である村山駅東沢線も県営事業として整備が進んでおります。駅西エリアにおいては、楯岡長瀬線の拡幅や駅西中央5号線の整備に取り組み、よりよい交通環境の構築を図ってまいります。

以上の主要事業の他にも、新規就農者の経営開始資金に対する補助や、UIターンによる就職を促進するため、市内企業の情報発信や就職活動に関する経費への助成を行うなど将来の地域産業を担う人材の確保に努め、また、少人数の家庭に配慮した下水道使用料の値下げや高齢者の免許返納後の補助拡充により、市民生活環境の向上も図ってまいります。

むすびに

新型コロナを契機に生活や働き方は一変し、それに伴い行政へのニーズもまた大きく変化し、複雑化してまいりました。

その中でもテレワーク技術の発達は、様々な場所で仕事を可能とし、地方移住への関心を高めるきっかけとなりました。二地域居住やワーケーションなどの今までになかった生活スタイルは、人口減少問題に対する新たな解決の糸口でもあります。

令和4年度は、村山市の新たな魅力となる「Link MURAYAMA」などを最大限に活用し、新型コロナがもたらした社会変革を適切に捉え、新たな経済成長を遂げられるよう努めてまいります。

また、子育て支援や産業振興など各分野においても大胆な施策を展開することで、第5次総合計画の基本理念である『次の世代へ引き継ぐ魅力ある村山市を創る』を実現してまいります。

最後に、改めまして、市民及び議員の皆様、さらには村山市の発展にご尽力いただくすべての関係者の皆様に、ご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。